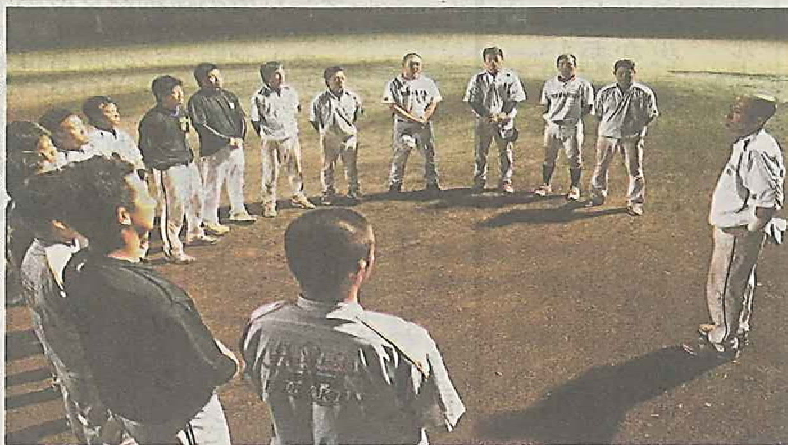


■ソフト男子西日本L あすから後半戦■



西日本リーグ2連覇を目指し第3節の4連戦を前に気合を入れる平林金属クのナイン。AIR A K I N ライス球場

ソフトボール男子の西日本リーグは12、13日の第3節(高知市)で後半戦に入り、現在2位タイの平林金属ク(岡山市)は2連覇に向け勝負の4連戦に挑む。直近の全国3大会はいずれも初戦敗退。悪い流れを断ち切り、上昇気流に乗って最終第4節(26、27日・尾道市)へつなぎたい。(村上達也)

順位	位置	試合	勝敗	得点	失点	打点	盗塁	犠打	犠飛	併打	三塁打	本塁打	投手	打者	捕手	内野手	外野手	監督	コーチ	審判
1	位	高知	0勝2敗	2	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	位	平林金属ク	0勝2敗	2	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	位	高知	0勝2敗	2	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	位	高知	0勝2敗	2	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	位	高知	0勝2敗	2	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	位	高知	0勝2敗	2	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	位	高知	0勝2敗	2	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	位	高知	0勝2敗	2	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	位	高知	0勝2敗	2	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	位	高知	0勝2敗	2	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平林金属ク V 2 正念場

決勝T進出へ 鍵握る得点力

ひしめく大混戦。第3節で平林金属クはN e o長崎、東京国体を制した5位高知バシフィックウェーブなどと4試合を戦う。鍵は、最下位・オール福岡との初戦を勝ちきり、チームに勢いを呼び込めるかだ。

東日本、西日本両リーグの上位4チームによる決勝トーナメント(11月・愛知県)進出には10勝が目安となりそう。吉村監督は「(第3節で)4連勝を狙う」と意気込む。

中軸のベテラン谷口は「壁にぶつかったチームを立て直すため全員が必死で食らい付き、一丸で戦わなければ」と気を引き締め、エース松田は「序盤の踏ん張りリズムをつくり、攻撃につなげたい」と気合を入れる。

9チームが2回戦総当たりで競う西日本リーグ。平林金属クはここまで6勝3敗で並ぶダイワアクト、大阪桃次郎とともに、7勝2敗の首位N e o長崎を追っている。

前半戦を終えた6月以降に臨んだトーナメントは苦戦が続いた。全日本クラブ選手権(7月)、全日本総合選手権(9月)、平林金属ク主体で臨んだ東京国体(同)は全て初戦で敗れた。打線のつながりを欠き、この3試合でわずか2得点にとどまる。昨季の中軸2人が抜けた穴が大きく「こそ」という場面での1本が今年は出ない」と吉村監督。得点力の低下は失点が許されない守備への重圧にもなっている。

西日本リーグは現在、1〜5位が2勝差に